

1. 10月全国行事

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1) 全国労働衛生週間 | 10月1日～10月7日 |
| 2) 健康強調月間 | 10月1日～10月31日 |
| 3) 体力づくり強調月間 | 10月1日～10月31日 |
| 4) 全国産業安全衛生大会(京都市) | 10月23日～10月25日 |
| 5) 高圧ガス保安活動促進週間 | 10月23日～10月29日 |
| 6) 3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進月間 | 10月1日～10月31日 |

2. 安全・衛生・防災の心得 : 進めよう有害作業等の衛生管理

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

4. 他社 事故・災害事例から : 作業中めまいがして倒れ頭部打撲

5. ヒヤリハット事例 : 処理バスケットのセット用の棒が引っかかりヒヤリ

2. 安全・衛生・防災の心得 : 進めよう有害作業等の衛生管理

～作業環境管理・作業管理・健康管理～

・わが国では平成30年、休業4日以上労働災害は約12万件、業務上の疾病は8684件で、その内「負傷に起因する疾病」が約70%を占め、いわゆる有害化学物質等による中毒や熱中症、作業強度に起因するものは約2千件でした。

これらの数字は休業4日以上疾病であることから、実態は多くの職場で健康障害が潜在しているのではないかと危惧されています。

事実、欧米での業務上疾病(休業1日以上)の発生率は我が国の10倍以上です。

職場の有害業務対策等の労働衛生管理を進めるにあたっては、リスクアセスメントの考え方や手法等を取り入れて、次の「労働衛生の3管理」の推進が必要です。

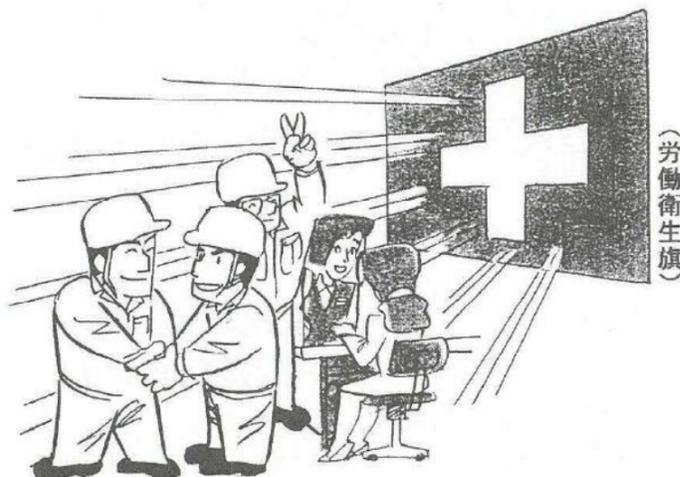
①**作業環境管理** 職場の環境の状態を測定などで的確に把握して検討し、改善に結びつける。

②**作業環境** 作業方法を見直し、有害物の被爆、腰痛等の有害作業を少なくする。

③**健康管理** 健康診断結果等に基づき健康管理を推進し、個人の健康の保持・増進を図る。

さらに、心身両面にわたる健康づくり・メンタルヘルス対策・過重労働対策も、健康で明るい職場を維持するための重要な取組みです。

9月は、10月1日から始まる「労働衛生週間」の準備月間です。この機会に職場の衛生管理を見直し立場・持ち場で具体的に取り組んで行くことが大切です。



3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

●伊丹工場

・第二工場入口のフォークリフト、人の歩車分離を行っていた。



・工具整理棚、作業者スキル、変化点管理等の整理、表示により見える化を行っていた。



4. 他社 事故・災害事例から：作業中めまいがして倒れ頭部打撲

～体調不良、足元の整理整頓が不良～

(1)災害のあらまし

・機械部品の製造工場で、女性パート従業員(45歳)が、コンベヤーの前に座って、自動プレス機から流れてくる部品を検査していたところ、不良品が続けて流れてきたためにプレス機の運転を止めようとして立ち上がった際、めまいがしてよろけ、床の廃品箱に足を取られて転倒し、頭部等の打撲で通院加療4日の休業災害となりました。

(2)災害の主な原因

- ①被災者は前日から体の具合が悪かったが、人手が足りなかったので無理をして出勤し、作業をしていたこと。
- ②足元のつまづきやすい場所に廃品箱が置かれていたこと。
- ③自動プレス機の停止ボタンが手元になかったこと、など。

(3)同種災害の防止対策 例

- ①体調等がすぐれないときは遠慮せず申し出るよう、日頃から習慣づける。
- ②やむを得ず体調不良者に作業を行わせるときは、監督者等の目の届くところで心身に負担がかからない作業に配置する。
- ③作業場所の整理・整頓・清掃は方法や手順を決めて実施する。
- ④コンベヤーの停止ボタンは作業者の手元に設置する。
- ⑤機械のトラブルの原因を改善する、など。

(4)環境安全部から

・4Sを徹底することと、ハウレンソウ「報告」「連絡」「相談」で回避できる災害もあります。



5. ヒヤリハット事例

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	午後3時
どこで	化成小型ライン
何をしている時に	化成処理後の水洗作業時
どうなった	処理バスケットのセット用の棒がバスケットから出ていて水洗槽に引っかかりヒヤリとした

以上